

# Interim Report

2019. 4. 1 ~ 2019. 9. 30

**daitobo**

since 1896

ダイトウボウ株式会社

証券コード：3202

200<sup>th</sup>

# ～新しい時代の先へ～

株主の皆様には平素より格別のご高配とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、節目となります第200期の中間株主通信(2019年4月1日～2019年9月30日)をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

まず最初に、節目となります第200回目の決算期を迎えることが出来ましたことを、この場をお借りして、株主の皆様には衷心より御礼申し上げます。

さて、当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の長期化を始めとする不確実な海外要因を背景に製造業における景況感が悪化傾向にあるものの、消費増税前の駆け込み需要や引き続き雇用環境が改善傾向にあることから消費が持ち直しているなど、全体としては緩やかな回復基調が続きました。

こうした中で、当社グループは、経営理念である「進取の精神」と「自利利他の心」に基づき、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指し、2018年度にスタートした「中期経営方針 Get Ahead of the Future ～新しい時代の先へ～」の諸施策に鋭意

取り組んでおります。

具体的には、中期経営方針で掲げました「柱となる戦略1 成長投資と維持更新投資への優先的な取り組み」におきましては、静岡県下有数の商業施設であります「サントムーン柿田川」において進めておりました増床・リニューアル工事(第4期開発)がほぼ予定通り完成し本年9月に引き渡しを受けました。現在は、本年7月にお知らせいたしましたとおり、来年2020年3月の開業を目指して粛々と準備を進めているところでございます。本格開業後は、年間買上客数10百万人、総取扱高270億円程度の全国有数の規模の商業施設になることを見込んでおります。

また、「柱となる戦略2 事業規模の拡大と収益性の向上」におきましては、ヘルスケア事業において前年度末に実施した事業譲受けが寄与し始めてきております。当第2四半期連結累計期間のヘルスケア事業セグメントの売上高は前年同期比約80%増とほぼ倍増し、また、ヘルスケア事業セグメントの営業利益は、第2四半期連結累計期間としては5期ぶりに黒字転換いた

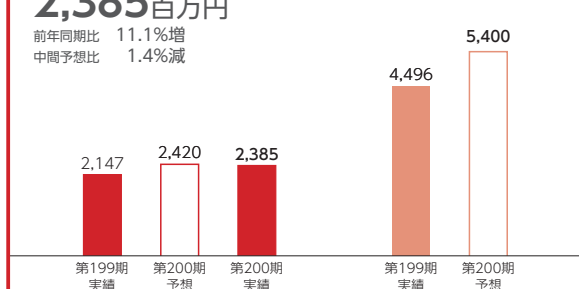
## 連結財務ハイライト

### 売上高

**2,385**百万円

前年同期比 11.1%増  
中間予想比 1.4%減

■ 第2四半期累計期間 ■ 通期 (単位:百万円)

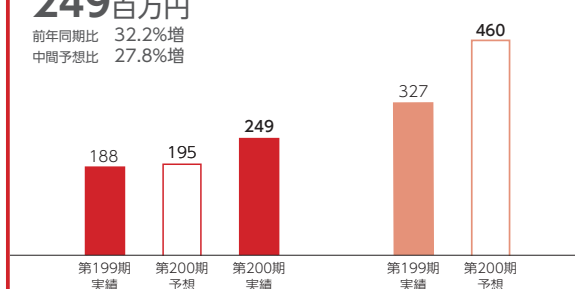


### 営業利益

**249**百万円

前年同期比 32.2%増  
中間予想比 27.8%増

■ 第2四半期累計期間 ■ 通期 (単位:百万円)



しました。今後もシナジー効果を高め、一段と業績向上に繋げてまいる所存でございます。

さらには、システム・財務・人事などの各部門におきましても、中期経営方針の各戦略に基づいて、継続して改革努力を重ねており、徐々に成果が出ているところでございます。

### <当第2四半期連結累計期間の業績>

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高はヘルスケア事業の譲受けによる増収効果もあり、23億85百万円(前年同期比11.1%増)と前年同期比増収となり、また、粗利率の改善と前年同期の商業施設事業投資に関連する一過性の費用計上の影響が剥落したこともあり、営業利益は2億49百万円(前年同期比32.2%増)となり、支払利息などの営業外費用を加味した経常利益は1億52百万円(前年同期比38.3%増)と前年同期比増益となりました。これに、法人税等の税金費用を加味した親会社株主に帰属する四半期純利益は1億48百万円(前年同期比3.2%増)となり、前年同期比増収増益の決算となりました。



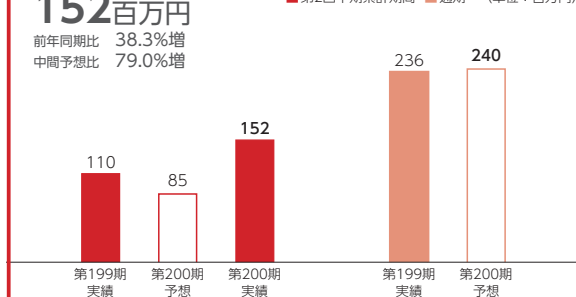
代表取締役社長  
山内 一裕

#### 経常利益

**152**百万円

前年同期比 38.3%増  
中間予想比 79.0%増

■ 第2四半期累計期間 ■ 通期 (単位:百万円)

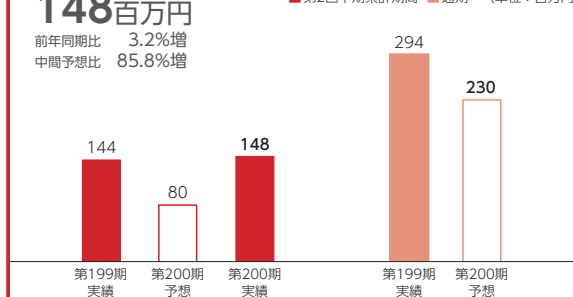


#### 親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

**148**百万円

前年同期比 3.2%増  
中間予想比 85.8%増

■ 第2四半期累計期間 ■ 通期 (単位:百万円)



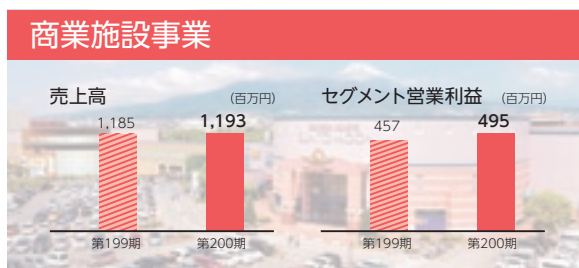
(注) 上記予想は発表日現在で入手可能な資料に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

### (商業施設事業)

商業施設事業につきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、GW・夏休み関連イベントや、家電量販店などでの消費増税前の駆け込み需要もあり施設取扱高が堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

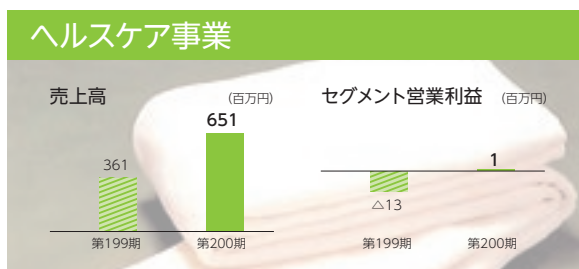
この結果、商業施設事業の売上高は11億93百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益は4億95百万円（前年同期比8.5%増）と前年同期比増収増益となりました。



### (ヘルスケア事業)

健康ビジネス部門、一般寝装品部門とも、前期末の事業譲受け効果により、売上高は前年同期を上回りました。

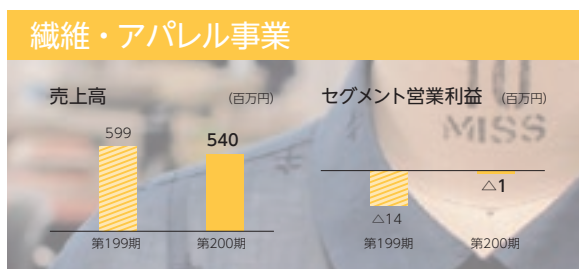
この結果、ヘルスケア事業の売上高は6億51百万円（前年同期比80.2%増）、営業利益は1百万円（前年同期は営業損失13百万円）と第2四半期連結累計期間では5期ぶりの黒字転換となり、前年同期比増収増益となりました。



### (繊維・アパレル事業)

衣料部門につきましては、国内アパレル市況の厳しさの影響もあり、売上高は前年同期を下回りました。ユニフォーム部門につきましては、官需ユニフォームが伸びたことから売上高は前年同期を上回りました。

この結果、繊維・アパレル事業の売上高は5億40百万円（前年同期比10.0%減）と減収となりましたものの、採算の改善があり、営業損失1百万円（前年同期は営業損失14百万円）と前年同期比損失幅が改善しました。



## 最後に

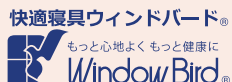
当社グループは、来年2020年に創立125周年目に入る機を捉え、「中期経営方針 Get Ahead of the Future ~新しい時代の先へ~」で掲げた戦略により、新しいステージでの取り組みを一段と加速させていきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、何卒倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 【 TOPICS 1 】 ヘルスケア事業において和田哲カンパニーが始動

当社は2019年3月に、業歴100年超の大阪の生地・寝具卸商社である旧和田哲株式会社のヘルスケア事業を譲り受けました。譲受け事業は、ヘルスケアを強く意識した営業力を基盤に、①当社の手薄な西日本を主たるテリトリーとしている、②高機能の健康関連素材の取り扱いがある、③当社が強化を企図している卸分野や小売に近い部門を多く有しているなど、地域性・取り扱い品目などにおいて、相互補完性が高く、譲受け以降、期待通りに業績を進捗させており、当社ヘルスケア事業の増収増益に大きく貢献しています。

また、新商品開発も進めており、東京ビッグサイトでの展示会に出展するなど新しいテーマにも取り組んでいます。



代表取締役社長

## 山内一裕

当社のヘルスケア事業は良質な睡眠を提供する睡眠関連ビジネスに注力しており、事業譲受け効果もあり売上高が前年度比倍増する見通しです。ヘルスケア事業部門のプレゼンスの高まりに呼応して、社内でのヘルスケア関



まず初めに、実は、今年度はダイトウボウグループのヘルスケア事業部門中心に健康管理能力検定試験を多数の社員が受験しており、来年度は会社として団体受験を申し込みたいと考えているところです。理事長から健康管理能力検定について簡単に教えてくださいませんか？



健康管理能力検定は、1992年に健康管理士一般指導員資格としてスタートしたことが始まりです。その後の健康意識の高まりを背景に、現在は、文部科学省の後援も得て、健康管理能力検定認定人数が累計65,000人を超える規模となっています。合格者の皆さんは企業、学校、自治体で幅広く健康に関する正しい知識を活用して、社会に貢献されています。



少子高齢化の時代を迎え、検定試験を通じて、健康に関する正しい知識を持つ人が増え、自分自身のみならず、世のため人のため

社会貢献する人が増えるというのは、とても素晴らしいことだと思います。ダイトウボウグループのヘルスケア事業部門も、そういった社会のニーズに応じて、睡眠関連の商品を中心に取り扱いを伸ばす中で、健康に関する正しい情報をお客様に提供するようにしています。健康管理能力検定は、そういった知識を高めるために非常に有益なツールだと思います。



お仕事にも活用頂いているとお聞きして嬉しいです。ところで、ダイトウボウグループでは、「健康経営」ということにも幅広く取り組んでおられるのですか？



実は、今年、弊社は都内の総合健保では数少ない「健康経営の証」を受章しました。役職員一同が、自身の身体的・精神的な健康に留まらず、個人の健康の集合体としての会社組織が健康な状態を維持しつつ日々業務に取り組んでい



全国健康管理能力検定協会理事長・  
日本成人病予防協会専務理事

# 安村禮子

連の資格取得にも力を入れているところです。かかる中、今回は、全国健康管理能力検定協会理事長・日本成人病予防協会専務理事安村禮子様をお招きして「健康経営」をテーマに山内社長と対談して頂きました。

ることが評価されたと理解しています。これは、ヘルスケア事業を営む企業として誇らしいことだと思っています。

**安村** ヘルスケアの概念はメディカルケアからボディケアやスポーツまでとても幅広い概念ですが、健康管理を行う上で、未病のうちに心身をケアするという事は大切なことだと考えています。この未病という観点から、「睡眠」は非常に重要な要素です。ダイトウボウグループが睡眠をキーワードとしてヘルスケアに取り組んでおられるということは、生活習慣病予防の観点からも効果が期待できると思います。ぜひ、ヘルスケア事業を通じて、少子高齢化時代における健康で豊かな生活作りに貢献し続けて頂きたいと思います。

**山内** ダイトウボウグループは、東京オリンピック・パラリンピックの2020年に125周年目の節目を迎えることを契機に、さらなる大き



## 安村禮子プロフィール

一般財団法人 全国健康管理能力検定協会 理事長  
特定非営利活動法人 日本成人病予防協会 専務理事  
文部科学省「早寝早起き朝ごはん」全国協議会 幹事  
管理薬剤師  
文部科学省後援「健康管理能力検定」の普及活動、健康講演会の講師として幅広く活動している。

な飛躍を目指す考えであり、ヘルスケア事業を通じて、より多くの皆様の健康で豊かな生活にお役に立ちたいと考えています。本日はありがとうございました。



## TOPICS 3

# 商業施設「サントムーン柿田川」に、 2020年3月 新館「サントムーン オアシス」 オープン

「サントムーン柿田川」は、日本三大清流の柿田川に隣接し富士山を望む絶好のロケーションに、1997年に開業した広域型複合商業施設です。当社は、増床・リニューアル工事（第4期開発）を進め、2018年10月に、別棟を建設しアウトドアショップ「スウェン」を移転開業、2019年9月には建設工事が概ね完了し、新館「サントムーン オアシス」および連絡橋・新立体駐車場の引き渡しを受けました。開業は、2020年3月中旬の予定です。



### ■施設コンセプトは「Bridge to a Brighter Life — もっと輝く暮らしへ」

新館「サントムーン オアシス」は3階建て、約7,000㎡のテナント面積に31店舗が出店します。うち14店舗が静岡県東部地区を発祥とする地元店となり、全国の人気店と連携しながら、地域のライフスタイルに寄り添う商品やサービスを提供してまいります。施設コンセプトは「Bridge to a Brighter Life — もっと輝く暮らしへ」。本館、アネックスとも連携しながら、地域のお客様の毎日に彩りを添え、もっと心ざらめく暮らしへの架け橋となることを目指してまいります。

各フロアの概要は以下の通りです。

#### ●1F「ライブラリーカフェ&セレクトフード」

静岡県東部地区では初出店となるベーカリーカフェー体型の「TSUTAYA BOOKSTORE」を中心に、こだわりの食の物販店や寝具専門店など、毎日の暮らしに彩りを添えるユニークなショップが集結。

#### ●2F「レストランストリート&セレクトグッズ」

本格的なレストランゾーンが誕生します。さらに、毎日のお洒落の強い味方になる美容サービスやファッション雑貨などで構成します。

#### ●3F「キッズ&バラエティー」

品揃え豊富なキッズ&ベビーファッション、ファミリーカジュアルファッションの大型店のほか、アミューズメントスポットも配置した、子育て世代を応援するフロアです。



富士山を望む絶好のロケーション



新館「サントムーン オアシス」



# 決算レビュー

## 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当第2四半期末 2019年9月30日現在	前期末 2019年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	3,472,601	3,053,350
固定資産	19,470,806	17,799,711
有形固定資産	18,743,140	17,067,530
無形固定資産	197,318	204,276
投資その他の資産	530,347	527,904
資産合計	22,943,407	20,853,062
(負債の部)		
流動負債	2,199,547	3,750,950
固定負債	16,281,334	12,793,693
負債合計	18,480,881	16,544,644
(純資産の部)		
株主資本	△ 31,399	△ 180,029
資本金	100,000	100,000
利益剰余金	△ 121,617	△ 270,247
自己株式	△ 9,781	△ 9,781
その他の包括利益累計額	4,478,979	4,477,563
新株予約権	14,946	10,884
純資産合計	4,462,526	4,308,418
負債純資産合計	22,943,407	20,853,062

## 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期 (累計) 2019年4月1日から 2019年9月30日まで	前第2四半期 (累計) 2018年4月1日から 2018年9月30日まで
売上高	2,385,782	2,147,439
売上原価	1,685,039	1,564,930
売上総利益	700,742	582,509
販売費及び一般管理費	451,577	394,068
営業利益	249,165	188,440
営業外収益	4,621	7,046
営業外費用	101,644	85,468
経常利益	152,141	110,018
税金等調整前四半期純利益	152,141	110,018
法人税、住民税及び事業税	4,709	3,562
法人税等調整額	△ 1,198	△ 37,546
四半期純利益	148,630	144,002
親会社株主に帰属する四半期純利益	148,630	144,002

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期 (累計) 2019年4月1日から 2019年9月30日まで	前第2四半期 (累計) 2018年4月1日から 2018年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	171,413	23,645
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,596,184	△ 192,040
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,705,816	189,982
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 293	△ 30
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	280,751	21,557
現金及び現金同等物の期首残高	1,725,283	1,777,319
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,006,034	1,798,876

# ビジネスフィールド

## 商業施設事業

心地よい生活文化を提案し続けるダイトウボウの商業施設。「お客様に喜ばれる空間づくり」を基本ビジョンに、豊かな生活空間を提供してまいります。

- ショッピングモール



## ヘルスケア事業

高齢化の進展と健康意識の高まりに応じて、当社独自技術の商品を活かして、お客様の健康で快適な生活をサポートします。当社グループの国内生産拠点の高い技術力が強みです。

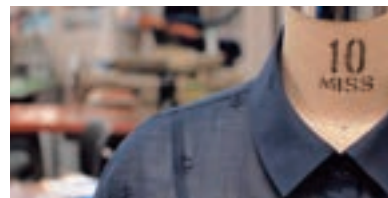
- 健康関連素材
- 健康食品
- 家庭用医療機器
- 一般寝装品



## 繊維・アパレル事業

ダイトウボウは「お客様に喜ばれるモノづくり」を基本ビジョンとして、アパレルファッションからユニフォームまで幅広くお客様のニーズに応じてまいります。

- 官・民ユニフォーム
- ニット企画
- 生産管理型OEM



# 役員状況

代表取締役社長	山内一裕	社外取締役 監査等委員	飯沼春樹
代表取締役副社長	野村利泰	社外取締役 監査等委員	鏡高志
取締役上席執行役員	三枝章吾	社外取締役 監査等委員	奥村秀策
社外取締役	澤田康伸	執行役員	青木寛繁
取締役 監査等委員	加久間雄二	執行役員	飯田互

(注) 1. 澤田康伸氏、飯沼春樹氏、鏡高志氏および奥村秀策氏は社外取締役（独立役員）であります。  
2. 監査等委員4名をメンバーとする監査等委員会を設置しております。



飯田互 三枝章吾 奥村秀策 鏡高志 山内一裕 野村利泰 加久間雄二 澤田康伸 飯沼春樹 青木寛繁

# 会社概要／株式の状況 (2019年9月30日現在)

## 会社概要

創 立	1896年2月27日
資 本 金	100,000,000円
事 業 所	
本 社	東京都中央区日本橋本町1丁目6番1号 ☎ 03 (6262) 6565
名古屋営業部	愛知県一宮市本町4丁目17番9号 ☎ 0586 (23) 4811
和田哲カンパニー /大阪営業部	大阪市中央区本町2丁目5番7号 ☎ 06 (6267) 6655 (和田哲カンパニー) ☎ 06 (6262) 8322 (大阪営業部)
グループ会社	大東紡エステート株式会社 (静岡県) 新潟大東紡株式会社 (新潟県) 上海大東紡織貿易有限公司 (中国)

## 株主優待のご案内

### 1 対象となる株主様

毎年3月末現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式100株以上を継続して6か月以上保有されている株主様を対象とします。

### 2 株主優待の内容

継続保有期間	保有株式数		
	100株以上 1,000株未満	1,000株以上 2,000株未満	2,000株以上
6か月以上 1年未満	当社ECサイト 取扱商品の 優待割引券 1回分	①2,000円相当の フオカード ②当社ECサイト 取扱商品の優待 割引券1回分	①4,000円相当の フオカード ②当社ECサイト 取扱商品の優待 割引券1回分
1年以上	当社ECサイト 取扱商品の 優待割引券 2回分	①3,000円相当の フオカード ②当社ECサイト 取扱商品の優待 割引券2回分	①5,000円相当の フオカード ②当社ECサイト 取扱商品の優待 割引券2回分

## 株式の状況

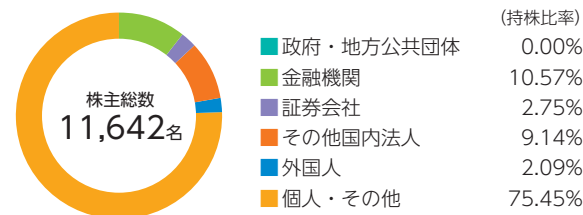
発行可能株式総数	96,000,000株
発行済株式の総数	30,000,000株
株主総数	11,642名

## 大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	938	3.14
ファーストブラザーズ株式会社	682	2.28
日本トラスティ・サービス信託銀行株式 会社 (信託口5)	620	2.07
株式会社シード	501	1.67
株式会社デベロッパース三信	500	1.67
日本トラスティ・サービス信託銀行株式 会社 (信託口2)	328	1.10
五十嵐和博	320	1.07
新陽株式会社	280	0.93
株式会社SBI証券	271	0.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式 会社 (信託口)	264	0.88

(注) 持株比率は自己株式 (68,749株) を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
剰余金配当基準日 期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日  
定時株主総会 毎年6月  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
(特別口座管理機関) 三井住友信託銀行株式会社  
郵便物送付先 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
公告方法 電子公告により公告  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって  
電子公告による公告をすることができない場合  
の公告方法は、日本経済新聞に掲載して行う。

## IRインフォメーション

当社ホームページでは決算短信や有価証券報告書をはじめ、最新の財務情報・適時開示情報等のIR情報を掲載しております。是非ご覧ください。

<http://www.daitobo.co.jp/ir/>



## ダイトウボウ株式会社

<http://www.daitobo.co.jp/>

本冊子に関するお問合せ先 経営管理本部 TEL : 03-6262-6565